



第10号

「めぐみちゃんのまちづくりだより」

～ 市民と農家の宝もの けやきの里のめぐみです ～

西東京市では、農業者と市民が相互理解を深め、都市の農業・農地が持つ多面的な機能を発揮させることにより、農地の保全を図っていくことを目的に、「都市と農業が共生するまちづくり事業」を進めています。事業の一環として整備された『**農のアカデミー体験実習農園**』を活用して、市内の農業・農地の魅力にふれあえるイベント「親子で野菜づくりにチャレンジ」を9月8日（日）と11月2日（土）に開催しました。

事業の
ねらい

農のアカデミー体験実習農園とは、
農を楽しみ、農に親しむ場とします。

事業の
効果

農のアカデミー体験実習農園では、
農の生涯学習を目指しています。

① 9月8日（日）親子で野菜づくりにチャレンジ Part1

9月8日（日）に農のアカデミー体験実習農園にて、「親子で野菜づくりにチャレンジ」が行われました。イベントには市内在住の親子20組40名が参加しました。

今回のイベントでは、「まちの畑のプロ」である西東京市農業委員会の農業委員の方2名にご協力いただきました。作付作業の前に、圃場内にあるハウスで、ダイコン、カブ、ハクサイそれぞれの野菜の特徴と、今回作付を行う品種についての解説を聞きました。

また「教えて！めぐみちゃん」と題して、市内の農業や主な農産物等についても学びました。

② ハクサイ、ダイコン、カブの作付

畑では、作付作業を開始する前に、農家さんから種蒔きと定植の方法を実際に見せてもらいました。作付は、ハクサイの苗の定植、ダイコンの種蒔き、カブの種蒔きの順番で行いました。



ポイント解説

カブ:「スワン」という品種で、甘くて柔らかく、サラダなどで生でも食べられます。種を蒔いた後は、発芽するまで土が乾かないようにこまめに水やりをする必要があります。

ダイコン:「三太郎」という品種で、身がしっかりと詰まっており、料理の味がしみ込みやすいので、おでんや煮込み料理に最適です。気温が成長に影響するので、種蒔きの時期を見極めることが栽培のポイントです。

ハクサイ:「さとぶき613」という柔らかくて、味と食感に優れた品種です。アブラムシ等の害虫が付きやすいので、寒冷紗でトンネル掛けして予防してください。



ハクサイはこの苗を定植します。



ダイコンやカブは、種を蒔きます。



③ 11月2日(土) 親子で野菜づくりにチャレンジ Part2

11月2日(土)に「第2回親子で野菜づくりにチャレンジ」を実施しました。今回は、9月に作付をしたカブ、ダイコン、ハクサイの収穫を行いました。収穫を行う前に、圃場内のハウスで、作物の生育状況等について話を聞きました。

9月に台風が通過した影響で、根腐れや葉が黄色く枯れてしまった作物もあり、農家さんたちが新しい苗を用意し、一部を植え直してくれました。

今回のイベントでは、収穫時期が少し早いこともあり、ハクサイはまだ葉が巻ききっていない状態でしたが、どの作物も問題なく美味しくいただけると、農家さんたちから太鼓判をいただきました。

④ ハクサイ、ダイコン、カブの収穫

ハウスから圃場へ移動して、収穫を開始します。大きく育った作物を前に、参加者の皆さんも盛り上がってきます。収穫方法は、作物毎のポイントを農家さんから実際の手本を示しながら教えてもらい、親子で協力して収穫を楽しみました。



農家さんからの生育状況についての説明



0日～51日目(収穫4日前)までの生育状況を記した資料



わずか2ヶ月で、こんなに立派に育ちました。



作物を前にみんなで記念撮影



カブの収穫中!!



収穫の方法を農家さんが説明してくれました。

収穫の様子



頑張って家まで持って帰ります。



収穫したハクサイは大きく、親子で協力して運ぶ姿も見られました。



ハクサイ、ダイコン、カブ...どんな料理にしようかしら?



わあ! 大きい!



カブは葉までおいしくいただけます。お味噌汁や野菜炒めがおすすめです。



参加した皆さんには、「市内農業の魅力」にふれていただき、農産物への興味を持っていただけたと思います。ご協力いただいた農家さん、ありがとうございました。

西東京市では、貴重な農地を残していくために、「東京都農業・農地を活かしたまちづくり事業」を活用した、「西東京市都市と農業が共生するまちづくり事業」を進めています。「農のアカデミー体験実習農園」は、本事業の支援を受けています。

発行: 西東京市
生活文化スポーツ部
産業振興課

